

心豊かに自ら学ぶ子どもの育成

～進んで学ぶ子・やさしい子・たくましい子～

○目指す子ども像

- ・よく考え進んで学ぶ子
主体的に学習する態度を育て、自ら課題を解決しようとする子
- ・自分も人も大切にする子
自分のよさを生かし、相手の気持ちを考え、よりよい集団にしようとする子
- ・最後まで頑張る子
目標を持ち、自立に向けて取り組む子
- ・心も体も健康で明るい子
規則正しい生活リズムの中で、健康自立に向かってたくましく生きる子

○目指す学校像

- ・のびのびと過ごせる楽しい学校
- ・興味・関心のあることにじっくり取り組める学校
- ・わからないことが、わからないと言え、試行錯誤が受け入れられる学校
- ・好ましい人間関係や信頼関係が確立し、安心して自分の力が発揮できる学校
- ・一人一人が認められ、尊重され、大切にされる学校

○目指す教職員像

- ・健康に気をつけ、愛情をもって子どもと共に、生き生きと活動する教職員
- ・子どもを見つめ、認め、大切にし、よさや個性を的確にとらえ伸ばす教職員
- ・学習意欲を引き出し、一人一人に届く授業を創造する教職員
- ・人権を大切にする教職員
- ・家庭、地域との連携を図り、幅広い教育活動を進める教職員

1 本校の指導の重点

(1) 確かな学力

- ① 「生きる力」につながる学力、基礎・基本の確実な定着と学力向上。
 - ・学力を知識の量ととらえる学習観を転換し、学ぶ内容をその後の学習や生活に用いる基礎的・基本的内容を定着させる。また、その基礎的・基本的な内容については、子どもたちの以後の学習を支障なく進めるためにも繰り返し確実に習得させる。

② 指導方法や指導体制の工夫改善

○教科学習等の指導の改善

- ・見通しを持った系統立てた授業の推進
- ・基礎的、基本的内容（おさらい・復習）の徹底的な指導
- ・体験的、問題解決的学習による主体的な学びの重視（時間の確保）
- ・合科的、関連的な指導の一層の推進（学習内容の弾力化）
- ・地域（人材、自然、文化施設等）の積極的活用
- ・コンピュータをはじめとする多種多様なメディアの活用

○学習指導形態の工夫

- ・+ α 型 担任の他、複数で指導する。
- ・交換型 担任が授業を交換する。
- ・合同型 学年合同で指導する。
- ・混合型 学年、学級内を課題、習熟、コース別に複数指導する。
- ・2学年合同型 隣接学年合同で指導する。
- ・異学年型 複数学年を複数指導する。
- ・その他 日本語教室、LD等通級教室等での指導

○学習時間、空間に対する発想の転換

- ・活動に見合った時間の確保と弾力的な時間の配分
- ・座学（教室内指導）に加え、屋外学習の場の確保
- ・学校内外の人材を生かした教材の開発
- ・家庭学習の定着（家庭を学習できる環境に宿題をやらせきる）
- ・土曜学習、夏休み等の学習会の有効活用

(2) 社会性の育成

○基本的な生活習慣の確立

- ・健康な生活リズムの確保「早寝・早起き・朝ごはん」などの望ましい生活習慣に関する知識を身につけ、実践力を養う指導の充実を図る。
- ・言葉を大切にした「あいさつ」の徹底
- ・問題行動、いじめ、不登校、倦怠学、遅刻への対応の強化

○豊かな心を育む

- ・一人一人を大切にした学級経営
- ・心を耕す学習の推進
- ・愛情のある指導と早期解決及び未然防止の充実
- ・児童、保護者への理解を深める家庭訪問の充実
- ・生活体験を多く取り入れた自然体験宿泊学習の場を設定・充実

- ・互いに信頼ある人間関係の確立
- ・生涯スポーツと体力向上を目指し、すべての子どもたちが運動・スポーツの楽しさや喜びを味わえるような指導の充実を図る
- ・部活動の教育的価値を重視し、子どもたちの運動欲求に応える取組を推進
- ・望ましい食習慣の形成を目指した食育を推進。

(3) 地域・家庭との連携

○開かれた学校づくりと地域ぐるみの学校安全

- ・子どもや家庭、地域の教育課題の共通認識と情報の共有化を進め、学級や教科、学年を越えた子どもたちの成長を促し、課題を共有した取組を推進する。さらに地域の人々の生涯学習や子育て支援の場として積極的な開放をする。
- ・学校だよりやホームページなどで情報を発信する。
- ・教育方針や活動内容を家庭や地域に示し、達成状況を的確に自己評価すると共に、成果と課題を家庭や地域に明らかにする。
- ・学校運営協議会を効果的に活用し、外部評価を取り入れる等、学校教育に対する家庭地域の声を生かす。

(4) その他 教職員の日常の心がけ・目標（共通認識・実践）

○家庭との連携（家庭訪問の励行）

- ・保護者との連絡を密にする。早い誠意ある対応！
- ・登校指導の徹底。欠席児童、遅刻をなくす！
- ・けじめのある生活習慣。時間厳守。
- ・忘れ物をなくす。

○学習集団作り（子どもの荒れ防止のための担任のノルマ）

- ・朝の時間の充実
- ・挨拶の習慣化
- ・清掃活動・当番活動の徹底指導
- ・たてわり活動の充実（高学年が低学年の見本になる）

○教職員の個性の尊重

- ・特技を生かした指導の工夫・発信
(部活動・学校行事・発表会・教材研究会など)
- ・組織の一員としての指導・行動（チーム醍醐西を前面に）

○「醍醐西教職員ルールブック」の内容を共通理解・認識